刈高さ自動キット

取扱説明書

K-VCH65J
K-VCH75WJ



ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください

●はじめに

この取扱説明書に記載以外の項目については本機の取扱説明書をご覧ください。

・本書では，安全上重要な事項を⚠で示し，次のように表示しています。必ず守ってください。

⚠危険	その警告に従わなかった場合は，死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠警告	その警告に従わなかった場合は，死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠注意	その警告に従わなかった場合は，ケガを負うおそれのあるものを示します。

も　く　じ

各部のはたらき……1

1．運転装置の取扱い……1

1．スイッチ・計器関係……1

2．刈高さ切替ストッパ……2

運転のしかた……3

1．走行・停車のしかた……3

1．走行のしかた……3

2．自動車への積込み・積降ろし……3

作業のしかた……4

1．作業前の準備……4

自動装置について……5

1．対地刈高さ自動制御……5

1．運転装置……5

2．自動での作業のしかた……6

2．ヘッダ部バックアップ制御……6

3．対地平行制御……7

1．運転装置……7

2．自動での作業のしかた……8

各部のはたらき

1．運転装置の取扱い

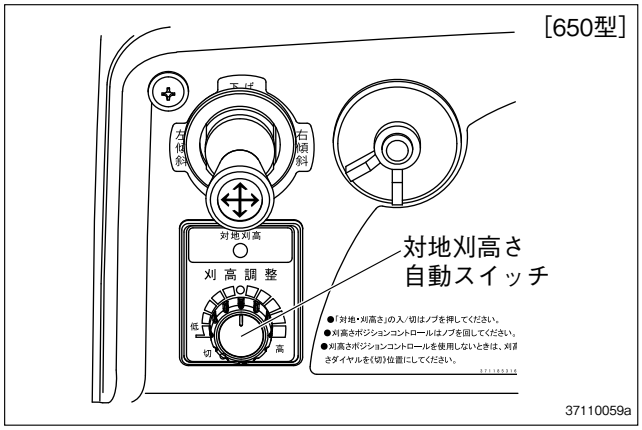
1．スイッチ・計器関係

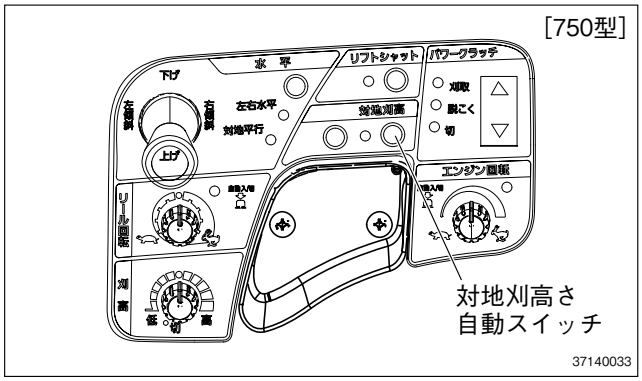
①　自動スイッチ

⑴　対地刈高さ自動スイッチ

そりセンサが作業位置であるとき，対地刈高さ自動スイッチを押すと対地刈高さランプが点滅します。

ランプが点滅しているときは，対地刈高さ自動待機状態です。走行し，ヘッダ部を下げ，設定刈高さになると対地刈高さランプが点灯し，対地刈高さ自動状態になります。



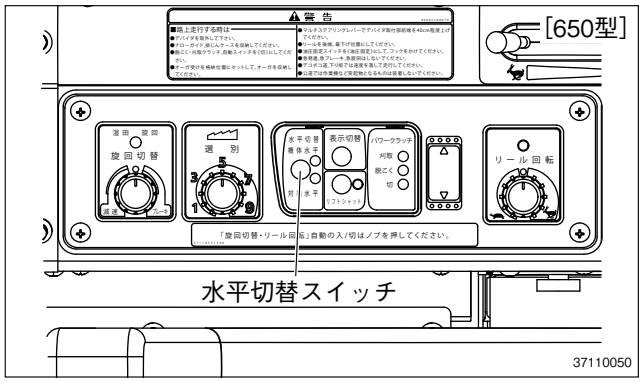


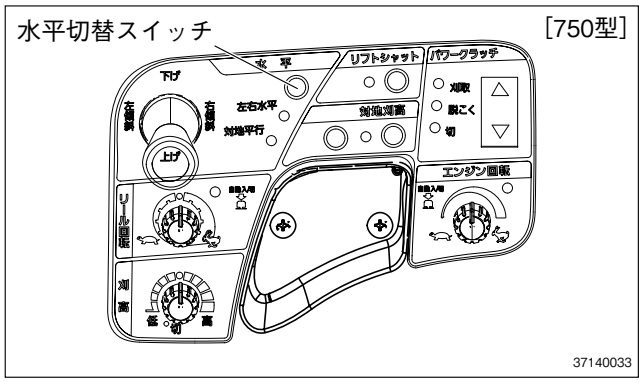
⑵　水平切替スイッチ

そりセンサが作業位置であるとき

水平切替スイッチを押すと　**「切り」→「機体水平」→「対地平行」→「切り」**　と順に切り替わり，ランプが点灯します。

そりセンサが作業位置以外であるとき対地平行ランプは点灯しません。

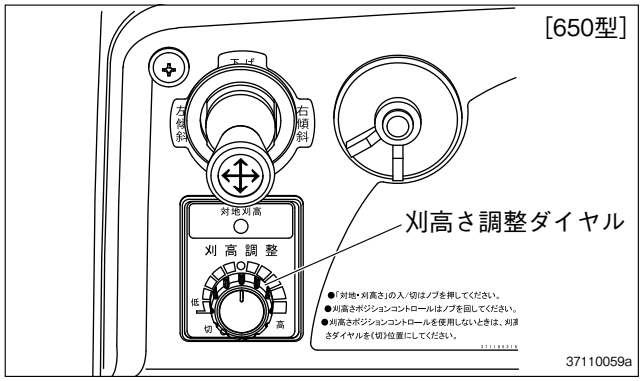


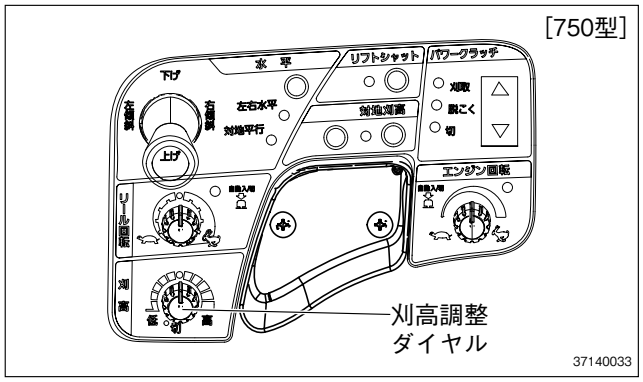


②　調整ダイヤル

⑴　刈高さ調整ダイヤル

そりセンサによる希望刈取り高さを調整できます。ダイヤル中央で高さはおよそ85～100㎜です。**「切」**位置にすると対地刈高さ自動は働きません。





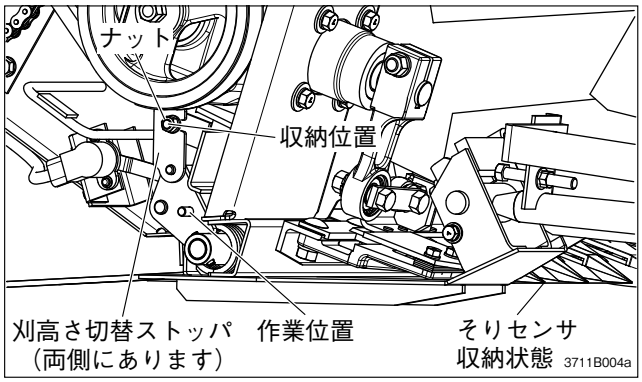
2. 刈高さ切替ストッパ

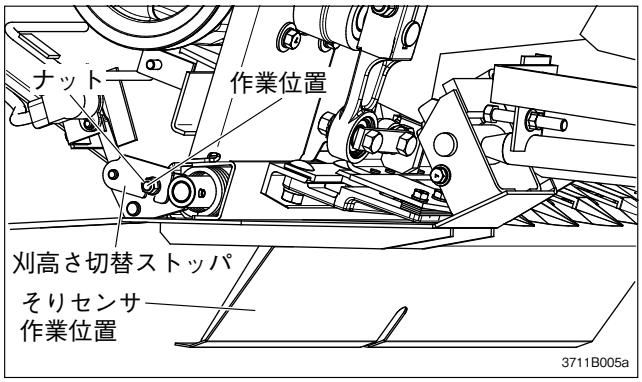
対地刈高さ自動や対地平行制御を行うとき，刈高さ切替ストッパ位置を作業位置にしてください。

⑴ プラットホーム右，左カバーを取外します。

⑵ 刈高さ切替ストッパを固定しているナットを取外し，刈高さ切替ストッパ位置を作業位置に切替えてナットで固定します。（両側共）

⑶ プラットホーム右，左カバーを取付けます。





運転のしかた

1．走行・停車のしかた

1．走行のしかた

⚠注意

◆傾斜地の走行するときは水平切替スイッチを必ず切り（ランプ消灯）にしてください。
◆刈高さ切替ストッパを収納位置にし、確実に収納されていることを確認してください。

2．自動車への積込み・積降ろし

⚠注意

◆積込み積降ろしをするときは水平切替スイッチを必ず切り（ランプ消灯）にしてください。
◆刈高さ切替ストッパを収納位置にし、確実に収納されていることを確認してください。

作業のしかた

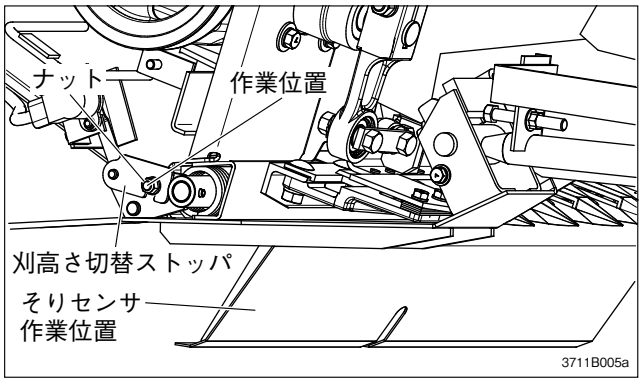
1．作業前の準備

①　対地刈高さ自動や対地平行制御を行うとき

⑴　プラットホーム右，左カバーを取外します。

⑵　刈高さ切替ストッパを固定しているナットを取外し，刈高さ切替ストッパ位置を作業位置に切替えてナットで固定します。（両側共）

⑶　プラットホーム右，左カバーを取付けます。



自動装置について

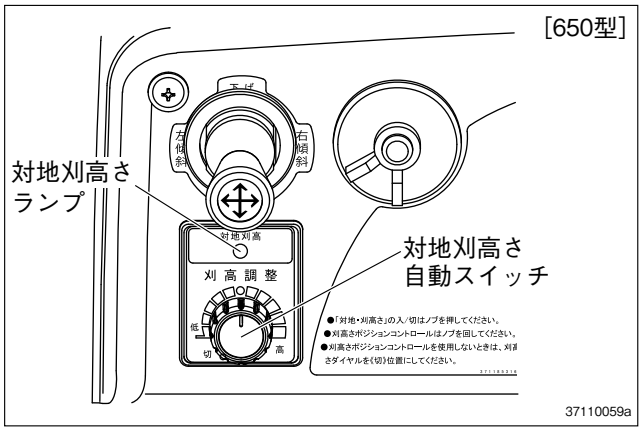
1．対地刈高さ自動制御

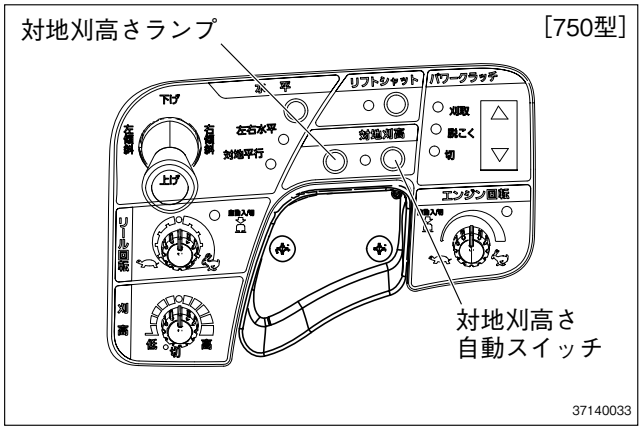
対地刈高さ自動制御とは，希望する刈高さをセットすると，ヘッダ部のそりセンサによって，ヘッダ部の対地高さを感知して，圃場の条件が変化しても希望の刈高さに自動調整する装置です。

・刈高さは地面からおよそ60㎜～150㎜の範囲で調整可能です。

1．運転装置

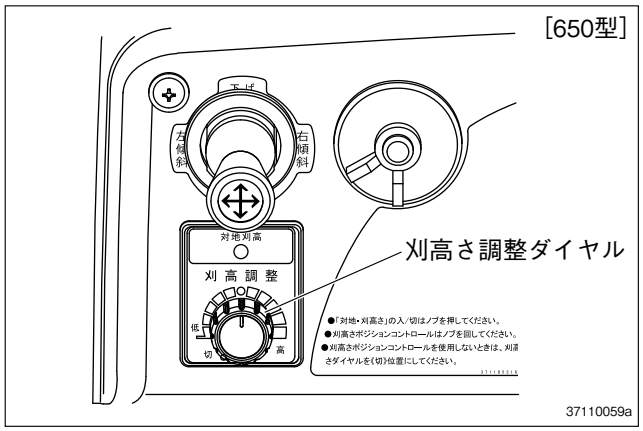
①　対地刈高さ自動スイッチ

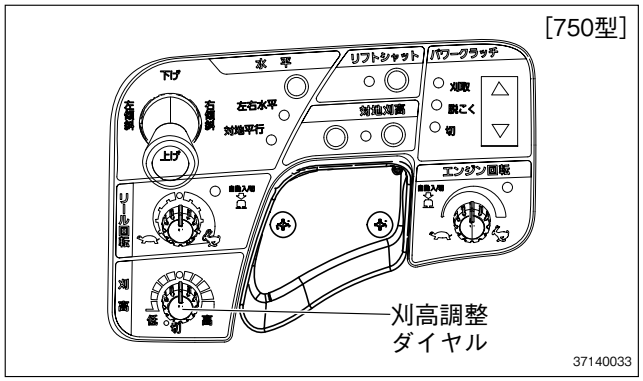




そりセンサが作業位置であるとき，対地刈高さ自動スイッチを押すと対地刈高さランプが点滅します。ランプが点滅しているときは，対地刈高さ自動待機状態です。走行し，ヘッダ部を下げ，設定刈高さになると対地刈高さランプが点滅から点灯に変わり，対地刈高さ自動状態になります。

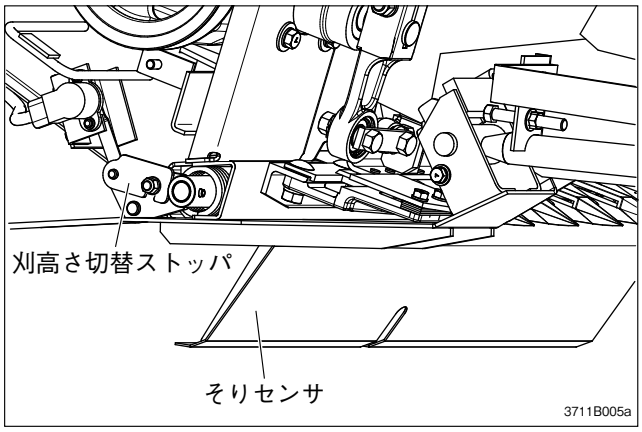
②　刈高さ調整ダイヤル





そりセンサによる希望刈取り高さを調整できます。ダイヤル中央で高さはおよそ85～100㎜です。「切」位置にすると対地刈高さ自動は働きません。

2. 自動での作業のしかた



・そりセンサの刈高さ切替ストッパを作業位置にしてください。
・エンジンを始動し，パワークラッチ（脱こく・刈取）スイッチを《**刈取**》位置にしてください。
・対地刈高さ自動スイッチを押して，対地刈高さランプを点滅させてください。
・ヘッダ部を下げてください。刈高さポジションコントロール位置でヘッダ部が停止します。
・刈取り走行しながら，ヘッダ部を下げてください。
・地面にヘッダ部そりセンサが設定高さで接地すれば，対地刈高さ自動ランプが点滅から点灯に変わり対地刈高さ自動制御が働きます。
・刈高さ調整ダイヤルを回すと設定高さが変更され，自動的に刈高さが調整されます。

取扱いのポイント

- **対地刈高さ自動中でもマルチステアリング操作（上下操作）が優先され対地刈高さ自動が解除されます。(ランプが点灯から点滅に変わります)**
- **再度対地刈高さ自動状態にするときは，刈取り走行しながらヘッダ部を下げてください。**

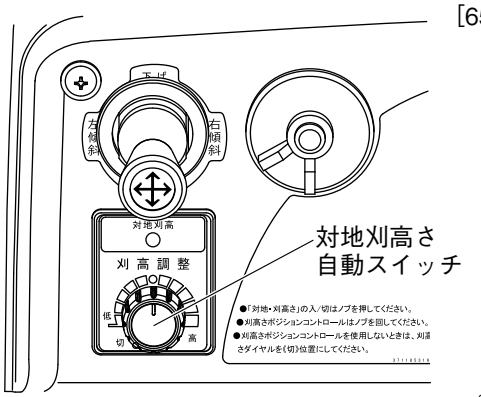
2. ヘッダ部バックアップ制御

ヘッダ部バックアップ制御とは作業中（パワークラッチ（脱こく，刈取）スイッチが《**刈取**》位置）に対地刈高さ自動状態（ランプが《**点灯**》または《**点滅**》しているとき）に機体を《**後進**》させるとリフトシャット作動高さまで自動でヘッダ部が上昇する補助的なソリセンサの破損防止装置です。

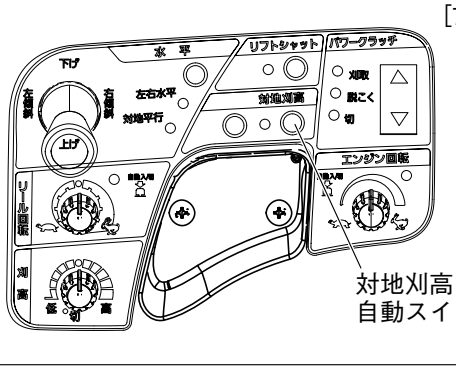
⚠危険

◆作業中は周囲に補助者や障害物が無い事を確認して作業を行ってください。ヘッダが自動で上昇する事により，巻き込まれたり，衝突するおそれがあります。

［650型］



［750型］



取扱いのポイント

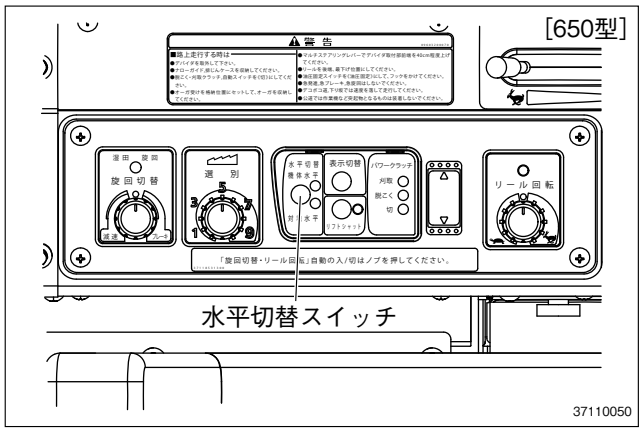
- **ヘッダ部バックアップ制御作動中にマルチステアリングレバーを操作（上下操作）した場合はマルチステアリングレバー操作が優先され，ヘッダバックアップ制御は解除されます。**
- **ほ場条件などによってはヘッダ部の上がり量が不足する場合がありますので後進するときにはマルチステアリングレバー操作でセンサが接地しない高さまでヘッダを上昇させてから後進を行ってください。**
  接地した状態で機体を後進するとそりセンサやヘッダが破損するおそれがあります。

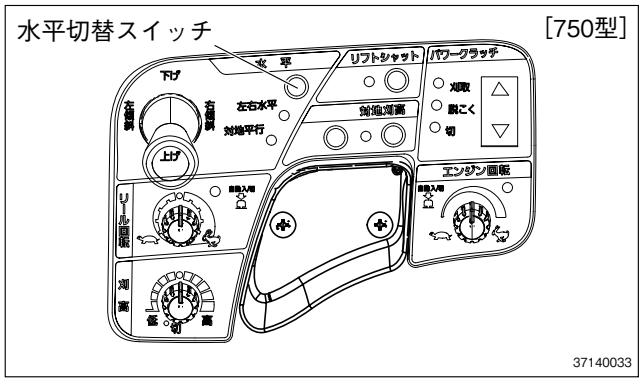
3．対地平行制御

対地平行制御とは，傾斜地ほ場において，ヘッダ部のそりセンサの出力をもとに地面に対して機体を平行に保つように自動調整する装置です。通常の平坦なほ場では，対地刈高さ制御と機体水平を用いて作業を行ってください。

1．運転装置

① **水平切替スイッチ**



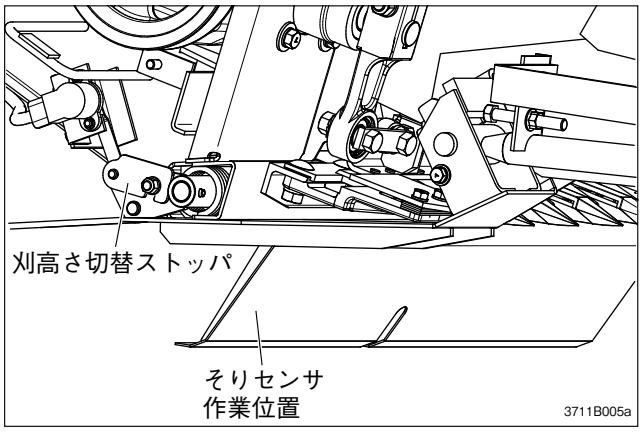


そりセンサが作業位置であるとき

水平切替スイッチを押すと　**「切り」→「機体水平」→「対地平行」→「切り」** と順に切り替わり，ランプが点灯します。

そりセンサが作業位置以外であるとき対地平行ランプは点灯しません。

2. 自動での作業のしかた



・そりセンサの刈高さ切替ストッパを作業位置にしてください。
・エンジンを始動し，パワークラッチ（脱こく・刈取）スイッチを《**刈取**》位置にしてください。
・水平切替スイッチを押して，対地平行ランプを点灯させてください。
・ヘッダ部を下げてください。そりセンサがフリー位置のときは機体水平で制御開始します。
・地面にヘッダ部そりセンサが接地すれば，対地平行自動制御が働きます。

取扱いのポイント

●対地水平が「入」でも水平操作レバーを操作すると，「手動優先」で機体高さ，機体傾斜角を変えることができます。

No.051802-37115059004